



健康友の会だより

<http://www.geocities.jp/xqdcg803/>

発行 2015年9月15日 くまもと健康友の会 会長 上野美恵子
〒862-0954 熊本市中央区神水1-21-16 e-mail:kumatomo2003@yahoo.co.jp
TEL096-383-8707-FAX096-383-1633



すすきすすきみゆるかぎりはずすきかな

長谷川 權

撮影 稲益親義氏



秋のエッセイ

友の会副会長 井上 悟

8月1日に開催された「神水盆踊り」は1、300人の参加で成功しました。昨年とは打って変わって晴天に恵まれました。盆踊りは、先祖の霊を迎え、また送るための風習が始まりとのことですが、老若男女が楽しく踊る様子は、まさに「平和な風景」でもあります。全国各地のこのような暮らしに根付いた風習は、平和でこそ受け継がれたものでしょう。

原爆の日、終戦の日、毎年8月は、先の戦争に思いを馳せ、平和の尊さが身に沁みます。特に今年は、テレビや新聞で戦後70年特集を多く目にしました。そのような中、安倍首相による「戦後70年談話」が発表されました。この談話は、盛り込むかどうか注目されていた「侵略」「植民地支配」「反省」「お詫び」という4つのキーワードを「見事に」ちりばめているものの、主語がない言い方、歴代内閣の立場を「紹介」する形式をとっていることなど、首相自らの言葉として語られていません。ある意味「言葉巧み」な文章です。全体的に空疎に響く内容ながら、私が衝撃を受け、怒りを覚えたのは、子や孫の世代に「謝罪を続ける宿命を背負わせてはならない」という部分です。歴史を語り継ぐこと、未来のために過去と向き合うことは、今を生きる私たちの責任であるはずで、ここには「謝罪はもう終わり」という安倍首相の歴史認識が表れています。

今、国会で審議されている「戦争法案」に対し、圧倒的な国民の怒りの声が渦巻いています。民医連は、憲法9条を壊す「戦争法案」を廃案にすることが、今もつとも重要な課題と位置づけています。

盆踊りのような、私たちの暮らしに根付いた営みは、平和であってこそ「あたり前の風景」と呼べるものです。戦争に結びつくいかなるものも、私たちのあたり前の暮らしを脅かすものであり、絶対に許してはなりません。戦後70年の節目の夏、戦争のない世界に向かって行動する、くまもと健康友の会の一員として決意を新たにしています。

第34回くまもと健康友の会総開かれる



6月13日にくまもと健康友の会第34回定期総会が水前寺共済会館で82名の参加で開催されました。今回の総会は、一部が骨粗鬆症予防の講演、二部が議案討議を行いました。一部の講演では、栄養士・理学療法士・放射線技師の3職種の専門家がそれぞれの立場から骨粗鬆症について講演しました。現代社会の高齢化に伴い、骨粗鬆症は誰

にでも身近な病気となっており、参加者の関心も高いようでした。二部の総会では、班からの活動報告がありました。若葉班は45世帯の会員に若葉班だよりを配布していること、たくまの里班は食事会（たくま亭）やコーラス部ができたこと、八王寺の杜班からは、保田窪班をベースに班会が開催され始めたことなどがそれぞれ報告されました。会場には、友の会活動紹介写真と手芸サークル（化粧箱）作品が展示されました。休憩時間には小田和子運営委員を先頭に飲酒運転撲滅踊りが披露されるなど楽しい雰囲気の中での総会となりました。



「新役員挨拶」



小田かおり（芳和会本部）

新しく運営委員となりました芳和会本部の小田と申します。地域の皆さんとより良い暮らし・まちづくりの為に医療機関職員として何が出来るかを考えながら、一緒に取り組んでいけるよう、頑張りたいと思います。諸先輩方の胸を借りながらではありますが、少しでも成長していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



市花真（やまびこ福祉会）

皆さま、はじめまして。今年度より健康友の会の役員を務めさせていただく事になりました。社会福祉法人やまびこ福祉会の市花真と申します。よろしくお願いいたします。

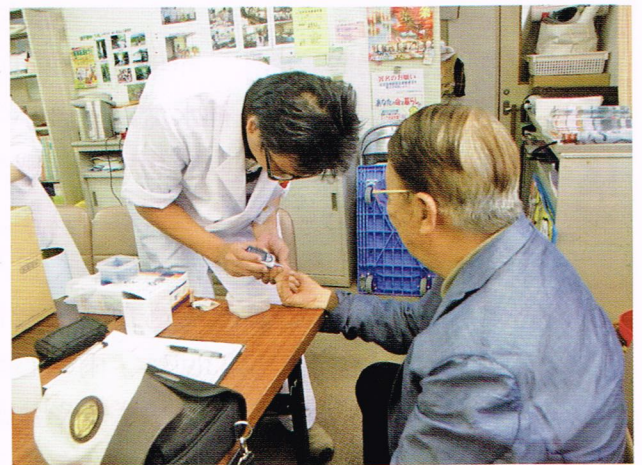
5歳になる男の子の子育て真っ最中ではありますが、仕事ばかりでなかなか子育てには参加出来ていません……
 (>>) 現在、安倍政権が進めている安保法案が通ってしまうと、削られるのは社会福祉。子どもや高齢者、障害のある方はより一層生きにくい世の中になると思います。全力で反対して行動し、今後の動向に注視していきたいと思えます。



健康友の会を強く大きくする「強化発展月間」に今年も10月から11月にかけて取り組みます。くまもと健康友の会は、くわみず病院やひまわり薬局、たくまの里などの民医連の施設を協力機関としてこの間、活動を続けてきました。

健康まつりや地域の盆踊りなどの大きな行事はもとより、地域での班会やサークル活動など地道に取り組んできました。最近では、食事会や子ども塾

にも活動の幅を広げています。しかし、昨今の政府の社会保障政策は、地域の分断をすすめており、そこに暮らす人々が自力で生きていかなければならないような形ができつつあります。健康友の会は、民医連の事業所と協力共同しながら「だれもが安心して住みつけられるまちづくり」運動をすすめています。地域での困り事を取り上げながら住みやすいまちづくりや医療・介護相談にも月間のなかで取り組んでいきます。



地域では高齢化が進んでいます。つい最近まで友の会旅行に参加していた方が、「参加できなくなった」という事例もよくあることです。昨年から、友の会に加入する際に年会費は廃止されて入会金500円のみとなり、加入しやすくなりました。また、7月より友の会事務所はリニューアルされました。今後は、友の会会員や地域のセンターとして新たな展開も試みながら友の会活動を前進できればと思っています。会員の皆様には、ご近所やお知り合いの方を友の会にご紹介いただきますようお願い申し上げます。

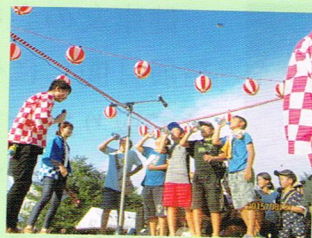
2015年度健康友の会役員名簿

会 長	上野美恵子	副 会 長	田中 慶昌	井上 悟
事務局長	大榎 学	事務局次長	高崎 清治	田邊菜穂子
運営委員	安達 純子	(新)市花 真	(新)小田かおり	小田 和子
	小野 惇子	小山 文男	神田美智子	後藤ひろみ
	斉藤 信子	(新)作取 久	立石 律子	長濱 文
	長谷川 博	藤田 信一	古澤 幸子	山本由美子
会計監査	(新)丸岡 宏子	森 重伸		

神水盆踊り大盛況

《第33回神水盆踊り
8月1日に開催》

「8月2日に神水ぼん
おどりがありました。
雨がふっていたけど、
祭りがあると、聞いてうきうきしました。



いろいろなお店がならんでいました。さいしょにヨーヨーつりをしました。次はくじやわたあめやかきごおりをかいました。とつてもたのしかったです。さいごに花火をしました。いろいろな色できれいでした。

神水ぼんおどりとつても楽しかったです。」

(TNさん)



昨年（第32回）の神水盆踊りの小学生の感想です。感想文にもあるように、毎年本当にたくさんの子どもたちが楽しんで

でくれています。今年の第33回は、雨の心配もなく、1,300人のみなさんが、バザーや盆踊り、中央舞台でのくわバンド、バナナのたたき売りに参加していただきました。この盆踊りは、くわみず病院、町内会、老人会、子ども会、PTAなどの皆さんで実行委員会を構成し、地域の企業・商店の皆さんの協賛金をいただき続けてきました。最近では、メインである盆踊りの踊り手や伝統の地域文化であるくわみず太鼓のたたき手が少なくなり、これをどう盛り上げるかが課題になっています。

(高崎 清治)

<会員の活躍>

原水爆禁止長崎大会に参加しました

益城班 澤田育男



原水爆禁止世界大会長崎に参加しました。今年是被爆70年しかも憲法違反である戦争法案反対の空前の闘いの中で向かえた大会で、全国から5,000名を超える参加者の熱気に包まれました。

外国からの参加者からは、憲法9条と日本の核廃絶を求める草の根運動が世界各地での運動を励ましていると賞賛されました。

一方、全国各地域の取組みでは、特に、若者達を中心に「核廃絶、平和や憲法守れ」の声を自分の言葉で発信し、共感が広がっていることに私自身も大いに励まされました。

安倍内閣は、戦争法案によって「抑止力」が高まるとしてあくまでも強行する構えです。戦争法案の廃案と安倍内閣を退陣に追い込みましょう。私も微力ながら地域で頑張りたいと思います。

We Shall Overcome



夏休みも終わりに近づいた8月26日に第2回子ども塾(プラス病院探検)を行いました。小学生の女子6名、男子4名の合計10名の参加でした。午前は、宿題のやり残しや教材を使つての独習、午後からは病院の各職場を見学する病院探検を行いました。放射線科のCT室では、実際に横になり模擬患者体験。「ドラマで見る機械だ」と言う声が飛んでいました。次回は、2016年1月5日に実施予定です。

夏休みも終わりに近づいた8月26日に第2回子ども塾(プラス病院探検)を行いました。小学生の女子6名、男子4名の合計10名の参加でした。午前は、宿題のやり残しや教材を使つての独習、午後からは病院の各職場を見学する病院探検を行いました。放射線科のCT室では、実際に横になり模擬患者体験。「ドラマで見る機械だ」と言う声が飛んでいました。次回は、2016年1月5日に実施予定です。

春の旅行は湯布院へ

思い思いの散策



食事もおいしかった。



健康友の会春の旅行に参加して

若葉班 安田京子

5月31日(日)「健康友の会湯布院旅行に若葉班の三人で参加しました。心配していた天候も良く、子どもさんも含め総勢58名の旅で窓からの緑の風景を見ながら、上野美恵子会長の挨拶、参加者の自己紹介。用意されたうたごえやゲームも楽しみました。

レストランでの昼食のあとは、三々五々湯布院の街の温泉やショッピングを楽しみました。日曜日でもあり、外国からの観光客の多さにはびっくりしました。

日頃あまりお会いする機会のない人たちもお話ができ、日常を離れた企画で、また元気に参加しようと話して帰りにつきました。スタッフの皆様ありがとうございました。

様々の国語(くにご)の中の初夏の旅

うたごえと笑顔の初夏の由布の旅

《第1回介護養成講座に参加して》

太田泰三(保田窪在住)

友の会介護養成講座、車椅子の扱い方は6月20日、たくまの里を会場に行われ講師は施設職員の方でした。内容は、ベッドから車椅子への移乗介助実演、車椅子での移動介助(講義と実習)でした。

実習では、段差を越えたり、坂道の進み方を講師の指導のもと学んだのですが、ぶー(体重の重い人)の乗った車椅子は全く動かなかつたりと思いのほか難しいものでした。また、車椅子に



乗り、坂を見下ろすと恐怖を覚えます。

車椅子利用者を安全快適に介助するのは当然ですが、それには車椅子の各部品の働き、介助者の声かけ、気づかいがとてでも大事であることも学べました。



第33回 うたう会 がありました

若葉班 安田修一郎

「ふらっと」うたう会とくまもと健康友の会が共催で3ヶ月ごとにおこなっている「第33回みんなでうたいましょう」が、くわみず病院通所リハビリ室で、7月26日(日)午後1時半から開かれ28人が参加しました。伴奏は、友の会・京塚班の原田スミ子さんでした。

今回は、猿渡(友の会員)さんの100歳の誕生祝いで、「第33回みんなでうたいましょう」に「猿渡さん100歳おめでとうございます」の横断幕を掲げました。猿渡さんのほか、7月の



誕生の人4人に「誕生日って」の歌を、お祝い品としてNさんの手作りの刺繍の入った布製のポーチを5月、6月の誕生の人にもプレゼントしました。

猿渡さんには、ランの生花を特別に贈りました。猿渡さんは、1915年(大正4年)に生まれ、学校卒業後海軍に入り、青春時代を海軍で過ごしたことなどを元気よく話されました。

休憩時間に、ハーモニカで4人の方のソロ演奏がありました。最後は全員立ち上がって「ふるさと」をうたい、全部で26曲うたいました。この会には上野美恵子健康友の会会長も参加されました。

次回・第34回みんなでうたう会

日時：10月25日(日)13時30分～15時30分

場所：くわみず病院別館(通りハ室)

参加費：300円



とびっくす

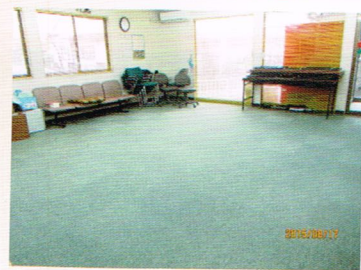
広くて台所もあります。皆さんでご利用下さい!

事務局 高崎清治

友の会事務局が、改装されて新しくなりました。トイレはもちろん台所もできました。



1.8メートル×1.2メートルのスクリーンも利用できます。約33.5㎡(5.5メートル×6メートル)の広さがあります。現在、手芸サークルや友の会サロン(食事会)に利用していますが、今後、みなさんが気軽にいつでも利用できるようにしたいと思っています。産直野菜の物販(週に何度か)のほか、健康や暮らしに役立つ学習会場などの情報発信地にできればとも思っています。ぜひ、みなさんのアイデアをお寄せください。



なお、9月26日の午後1時30分から、新事務所の開設式を予定しています。その後、友の会活動の学習会を行います。よろしかったらご参加下さい。

放射線技師 浦本一代

友の会 **新** 事務所

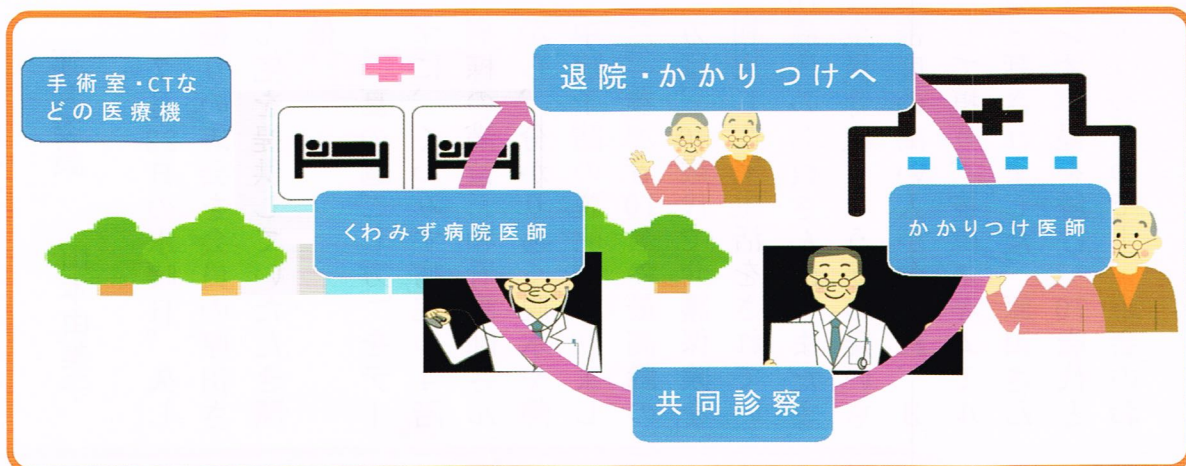
2015年6月に開放型病床(オープンシステム)を開始しました!!

くわみず病院 地域医療部 斉藤 信子



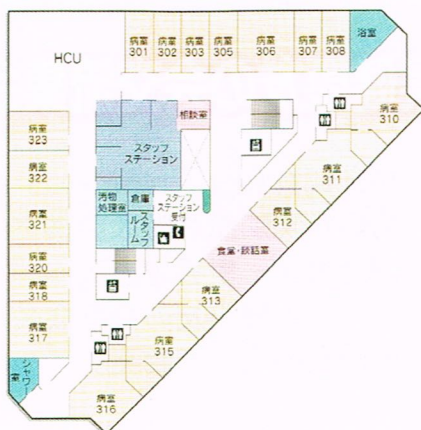
開放型病床(オープンシステム)とは?

開放型病床(オープンシステム)とは、患者さんが通院している地域の診療所やクリニックの先生(かかりつけの先生)と、くわみず病院の医師が共同で患者さんの治療や診察にあたることのできる病床(ベッド)です。かかりつけの先生には当院の登録医になっていただくことが必要ですが、診療所、クリニックの先生方はどなたでも登録医になることができます。

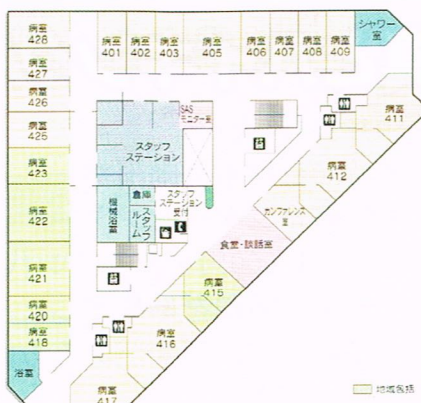


当院の開放型病床

3 F 305, 307号室



4 F 401, 403, 427号室



患者さんが開放型病床を利用して入院された場合は、くわみず病院の医師が主治医となり、かかりつけの先生が副主治医として共同で治療や診察をします。

かかりつけの先生方と共同で治療や診察を行うことで、通院から入院、そして退院まで一貫した診療を行いますので患者さんは安心感が得られます。

開放型病床をご利用したい場合は、かかりつけの先生とご相談をしていただき、患者さんの同意があれば利用可能となります。また、ご利用に関しては、患者さんの負担金も少し発生しますのでご了承ください。ご利用の希望やご不明な点はくわみず病院地域医療部、斉藤までご相談下さい。

班紹介

京塚班



運営委員 山本由美子

7月22日の水曜日。久しぶりの班会を会員の原田さん宅を提供していただき開催。

「夏の過ごし方」をテーマに、くわみず病院の4階病棟の満留三和看護師さんから、分かり易く脱水や熱中症予防の説明がありました。参加者10名の最高齢の方は、90歳代で介護保険を利用し在宅生活をされています。

ます。5名の人は、80歳代。70歳代の会員さんは、まだまだ若衆です。骨密度測定では、全員骨粗しょう症の疑いもなく、80歳代の中には、抜群に密度の高い人がおられ、3食いりこをレンジでカリカリにして摂り、夜はスキムミルクやひじき等を良く食べていると話されました。原田さんは、50歳代から毎朝かかさずラジオ体操を続け、70歳代とは思えないほど肌もぴちぴち元気はつらつです。班会のお誘いチラシを沢山配られました。

健康友の会を实践されている皆さんです。

お知らせ

熊本県健康友の会交流集会

とき 10月17日(土) 14時～
ところ 菊陽病院別館3階大会議室
内容 記念講演 伊香忠志氏
(代々木健康友の会副会長)
県内友の会の活動発表

秋の友の会旅行

とき 11月3日(火)
午前8時30分神水公園出発
行き先 藍の岬(上天草市大矢野町)
会費 4,000円

友の会サロン開催

《たくま亭》

とき 9月28日(月) 11時30分～
ところ たくまの里・地域交流室
参加費 300円

《くわみず亭》

とき 10月5日(月) 12時～
11月18日(水) 12時～
ところ 友の会事務所
参加費 400円

写真とハイキング

とき 10月27日(火)
8時30分神水公園出発
行き先 南阿蘇ビジターセンター
参加費 実費(1,000円・ガソリン代)
※楽しいサークル活動を始めました。
写真やハイキングに興味がある方は是非ご参加ください。